



グローバル・フィンテック株式ファンド

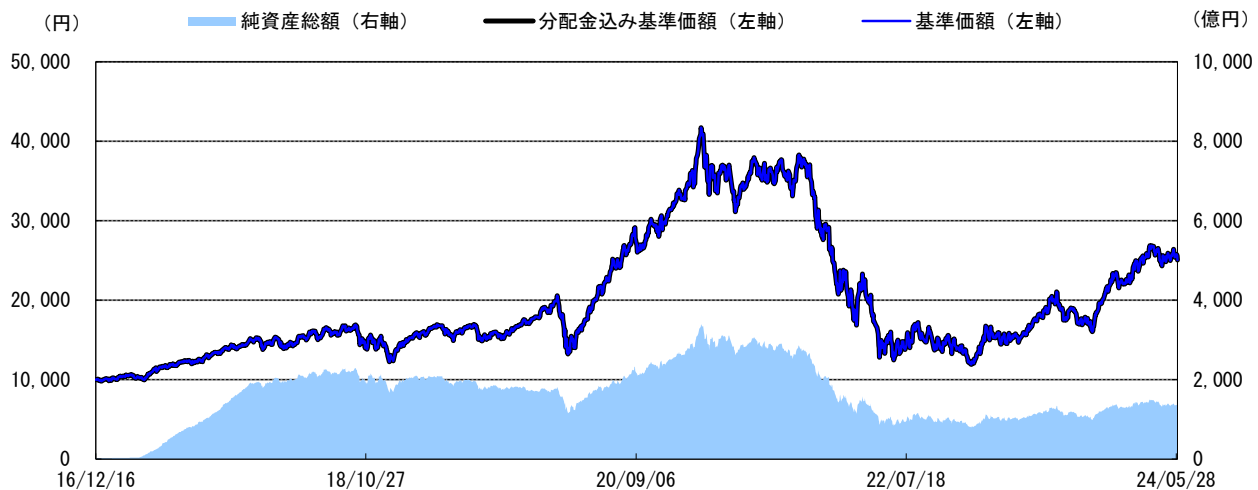
モーニングスター社「Morningstar Award “Fund of the Year 2020”」にて、国際株式型(グローバル) 部門 **優秀ファンド賞** を受賞

設 定 日 : 2016年12月16日 償 還 日 : 無期限 決 算 日 : 原則、毎年12月7日
 収 益 分 配 : 決算日毎 基 準 価 額 : 25,050円 純 資 産 総 額 : 1,320.61億円

※当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
 ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。
 ※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

運 用 実 績

＜基準価額の推移グラフ＞



※分配金込み基準価額の推移は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。
 ※基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の値です。

＜資産構成比＞

株式	98.6%
うち先物	0.0%
現金その他	1.4%

※マザーファンドの投資状況を反映した実質の組入比率で、対純資産総額比です。

＜基準価額騰落の要因分解＞

前月末基準価額	25,519円
要 因	
株式	-447円
為替など	21円
分配金・その他	-43円
当月末基準価額	25,050円

※上記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

＜分配金実績(税引前)＞

分配金合計	19・12・9	20・12・7	21・12・7	22・12・7	23・12・7
0円	0円	0円	0円	0円	0円

※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

＜基準価額の騰落率＞

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
-1.84%	-0.35%	20.42%	49.14%	-26.98%	150.50%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ポートフォリオの内容

※下記データはマザーファンドの状況です。比率は、マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

<通貨別組入上位10通貨>

通貨	比率
アメリカドル	90.0%
ユーロ	4.9%
南アフリカランド	2.0%
日本円	2.0%
ケニアシリング	0.6%
香港ドル	0.2%

<国・地域別組入上位10カ国>

国・地域名	比率
アメリカ	71.6%
カナダ	6.9%
オランダ	4.9%
カザフスタン	3.7%
ケイマン諸島	2.6%
南アフリカ	2.0%
日本	2.0%
ルクセンブルグ	1.9%
イスラエル	1.8%
シンガポール	1.1%

<業種別組入上位10業種>

業種	比率
金融サービス	43.7%
ソフトウェア・サービス	17.2%
メディア・娯楽	16.8%
一般消費財・サービス流通	7.8%
消費者サービス	4.1%
半導体・半導体製造装置	2.9%
銀行	2.3%
保険	2.0%
テクノロジー・ハードウェア	0.8%
不動産管理・開発	0.7%

<組入上位10銘柄> (銘柄数：42銘柄)

	銘柄名	通貨	国・地域名	業種	比率
1	ROBINHOOD MARKETS INC - A	アメリカドル	アメリカ	金融サービス	9.5%
2	COINBASE GLOBAL INC -CLASS A	アメリカドル	アメリカ	金融サービス	8.1%
3	BLOCK INC	アメリカドル	アメリカ	金融サービス	7.4%
4	SHOPIFY INC - CLASS A	アメリカドル	カナダ	ソフトウェア・サービス	6.9%
5	MERCADOLIBRE INC	アメリカドル	アメリカ	一般消費財・サービス流通	5.3%
6	ADYEN NV	ユーロ	オランダ	金融サービス	4.9%
7	DRAFTKINGS INC-CL A	アメリカドル	アメリカ	消費者サービス	4.1%
8	JSC KASPI. KZ-ADR	アメリカドル	カザフスタン	金融サービス	3.7%
9	ROBLOX CORP -CLASS A	アメリカドル	アメリカ	メディア・娯楽	3.7%
10	TOAST INC-CLASS A	アメリカドル	アメリカ	金融サービス	3.5%

※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。

※上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

運用コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。
※ファンドにおける各銘柄の保有比率は、投資行動だけではなく当該銘柄の株価変動等によっても変化するため、買い増しや一部売却をした場合に、当該銘柄の保有比率の変動の方向性が一致しない場合があります。例えば、買い増しした銘柄の保有比率が前月末と比較して低下している場合や、一部売却した銘柄の保有比率が前月末と比較して上昇している場合があります。

◎市場環境

5月の主要株式市場は、米国連邦公開市場委員会（FOMC）後のパウエル米国連邦準備制度理事会（FRB）議長による記者会見が予想ほどタカ派的でなかったことに加えて、労働市場や物価の軟化を受けて年内利下げ観測が維持されたことなどから、前月末比で上昇しました。円が対ドルでほぼ変わらずの水準となったことから、当月は円ベース・リターンでもほぼ同水準となりました。

セクター別では、情報技術、公益、通信サービスなどが好調となる一方、エネルギー、一般消費財・サービスなどは出遅れました。当ファンドでは、暗号通貨やブロックチェーン技術に関連した分散型金融システム（DeFi）を含むデジタル・ウォレットと自律走行電気自動車は、金融やエネルギーなどのセクターへ創造的破壊をもたらし、仲介機能を排除すると考えています。

FRBが、雇用の増加は利下げの障害ではなく、政策指標としてはインフレ率の方がはるかに重要であることを伝え始めたことは注目に値します。コンセンサス予想がソフトランディング（リセッションを回避した緩やかな景気減速）に傾く一方で、当ファンドでは、価格決定力の低下により企業は雇用削減に追い込まれ、予想以上のハードランディング（急激な景気減速）になると予想しています。実際、米国経済は、住宅、自動車、商業用不動産などのセクターが落ち込み、ローリング・リセッションに陥っている可能性があると考えます。

◎運用概況

当月ファンドの基準価額は、米利下げ時期の後退や長期金利の上昇をこなしつつ市場が反発する中で、個別要因が響いて前月末比で下落し、主な株価指数のリターンから出遅れました。

個別銘柄では、Robinhood Markets（金融サービス）がプラス寄与上位となりました。第1四半期決算は、プラットフォームにおける暗号資産取引高の好調を受けて売上高が市場予想を上回るなど良好な結果となり、また月の後半には総額10億ドルの自社株買いプログラムも発表しました。メルカドリブレ（一般消費財・サービス流通・小売）は、第1四半期の売上高や営業利益が市場予想を上回ったことなどが株価上昇につながりました。ピンタレスト（メディア・娯楽）も、売上高が市場予想を上回るなど好調な第1四半期決算を発表し、プラスに寄与しました。好業績の要因として経営陣は、ローワーファンネル（最終的な購買行動を促す段階）の広告ツールに対する幅広い広告主からの需要、米eコマース大手や米インターネット検索大手を通じたサードパーティー広告需要の収益化、プラットフォームが持つ若い世代への強い訴求力を挙げています。コインベース・グローバル（金融サービス）は、売上高が前四半期比で大きく増加したほか調整後EBITDA（利払前・税引前・減価償却前利益）が2023年通年の合計額を上回るなど、好調な第1四半期決算を受けて株価が上昇しました。暗号資産にとって追い風となる「21世紀のための金融イノベーション・テクノロジー法」（FIT21）の法案が米国下院で可決されたことも追い風となり、現在は上院での可決が待ち望まれています。加えて、リサーチ会社による目標株価引き上げなどの評価が追い風となった、カザフスタンの消費者・企業に決済やマーケットプレイスなどのフィンテック・ソリューションを提供しスーパーアプリとして運営されている、カスピ（金融サービス）もプラスに寄与しました。

一方、ユーアイパス（ソフトウェア・サービス）は、第1四半期決算を受けて株価が急落しました。決算発表では、マクロ経済面の逆風に加えて営業実行面の課題を理由に、売上高、ARR（年間経常収益）、営業利益の通年見通しを下方修正するという予想外の展開となりました。また、現CEO（最高経営責任者）が退任し、創業者の前CEOが復帰することも発表されました。短期的な逆風に直面して収益が伸び悩んでいるものの、同社が提供する信頼性の高い決定論的自動化ツールは大規模言語モデルが実世界で複雑なタスクを実行していく上で必要になることから、今後は生成AIが大きな追い風になると考えています。ブロック（金融サービス）も、純収入と調整後EBITDAがともに予想を上回った第1四半期の好業績を発表し、通期ガイダンスを引き上げたものの、株価が振るわずマイナスに寄与しました。BNPL（後払い決済）とキャッシュカードの合併を含む幾つかのカタリスト（株価を左右する材料）が決済アプリ部門の魅力的な成長機会となる一方で、決済サービス部門の成長が減速していることと悲観的なマクロ見通しなどが警戒材料となりました。ショッピングファイ（ソフトウェア・サービス）は、第1四半期決算で示した第2四半期の売上高成長率の見通しが市場予想を下回ったことから株価が下落しました。ドラフトキングス（消費者サービス）の株価も下落しました。第1四半期の売上高は、顧客エンゲージメントや新規顧客獲得、新地域への進出などが原動力となって前年同期比で大きく増加し、また、2024年度の売上高見通しについても上方修正されました。しかし、大手事業者に適用されるスポーツベッティング税の税率引き上げなどを盛り込んだ予算案が上院で可決された米イリノイ州の動向によって、今後の利益が悪影響を受ける可能性が懸念されます。また、ロブックス（メディア・娯楽）は、第1四半期決算においてブックキング（繰り延べ分などを加えた調整後の売上高）が前年同期比で増加したものの伸びが鈍化したことや、第2四半期の業績見通しが市場予想を下回るとともに、通年のブックキング予想を下方修正したことなどが警戒されて株価が急落しました。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

運用コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。
※ファンドにおける各銘柄の保有比率は、投資行動だけでなく当該銘柄の株価変動等によっても変化するため、買い増しや一部売却をした場合に、当該銘柄の保有比率の変動の方向性が一致しない場合があります。例えば、買い増しした銘柄の保有比率が前月末と比較して低下している場合や、一部売却した銘柄の保有比率が前月末と比較して上昇している場合があります。

当月の主な投資行動としては、以下の3銘柄を新規に組み入れました。

今年3月に米国市場へ新規上場したソーシャルネットワーク・プラットフォームの、レディット（メディア・娯楽）について新規ポジションを構築しました。ユーザーが様々なトピックのコンテンツを共有し、議論、投票ができるオンライン・コミュニティであり、「サブレディット」と呼ばれる数千の個別コミュニティが組織されてテクノロジーや、スポーツ、映画、ガーデニングなどの特定のテーマ・趣味に特化しています。このユニークな構造により、多様な議論やユーザーの参加を促し、自分の趣味にあわせた体験をすることができます。幅広いコンテンツと活発なユーザー層で知られる、ネット上で最も人気のあるサイトの1つです。

また、米国で在庫管理単位（SKU）レベルでのデジタル販促事業を展開する最大手、Ibotta（メディア・娯楽）についても新規購入しました。提携する様々な小売事業者のキャンペーンを消費者に提供し、消費者に直接アクセスできるインターフェースを提供しているほか、米スーパーマーケットチェーン大手や米ディスカウントストアチェーン大手などが独自に運営するキャッシュバックキャンペーン向けのホワイトレーベル・ソリューションも提供しています。日用消費財（CPG）分野においてパフォーマンスマーケティング（成果報酬型のマーケティング）への関心が引き続き高まっており、米国でeコマースの普及が続いている中でそれらの基幹技術を提供することで恩恵を享受する存在であるとみています。

また、ペイバル・ホールディングス（金融サービス）については、ブランド決済サービス事業が後払い決済サービス参入企業などの競合他社にシェアを奪われていることに投資家が過剰反応を示し、バリュエーションが割安な水準にあると判断したことから、再び組み入れました。当ファンドでは、ソフトウェア開発企業出身で経験豊富なCEOを中心に、ブランド決済サービスの復活に注力するとともに、それ以外の決済処理サービス事業の収益を徐々に拡大していくとみています。当ファンドのモデルでは、中期的に保守的な売上高成長を想定し、利益率も穏やかな向上を見込んでいますが、足元の株価水準は良好な投資機会をもたらしていると考えています。

一方で、トゥイリオ（ソフトウェア・サービス）を全売却しました。AI企業である同社の成長見通しは、保有する膨大なデータを新しいAI製品内で活用できるかどうかにかかっています。共同創業者である前CEOは、長期的な成長戦略の柱の1つとしてこれらの製品内でAIを活用していくビジョンを頻繁に示していましたが、その後経営陣は当該事業の見直しを行うと発表しました。これは、アクティビスト投資家（モノ言う株主）から同事業売却を迫られての動きである可能性があります。長期的なAI戦略に不透明感が出ており、当ファンドにおける確信度が薄れたことから全売却としました。また、バグセグロ・デジタル（金融サービス）についても、より確信度の高い銘柄群への集中化として、全売却を進めました。

◎今後の見通し

テクノロジーによって実現した技術革新や費用曲線の低下に伴う特定のデフレ要因は、今後3年から5年の間にフィンテック企業の単位成長率や、生産性、収益性を押し上げると考えられます。特に、モバイル決済・機器、人工知能（AI）、クラウド、ブロックチェーン技術などに基づく戦略により、フィンテック企業はますますその恩恵を受けることになるでしょう。なかでも特に、デジタル・ウォレット（モバイル決済）サービスは単なる支払機能を越えた変革をもたらしつつあります。米国で数千万人、世界で数十億人のユーザーが利用するデジタル・ウォレットは、資産管理、保険、銀行、個人融資、クレジットカードなどの融資手段、暗号資産や関連商品へのアクセスなどの様々な金融サービスのゲートウェイとなりつつあります。低い顧客獲得コストや独自データを備え、そしてクロス・セリング（組合せ販売）の機会に富むことから、投資家は従来の銀行サービスをしのぐプレミアムでこれを評価するとみられます。

その結果、価格交渉力や預貸利ざやといった旧来のビジネス形態に依存する従来型金融サービスの多くは、過去10年の間に実店舗を主力とする従来型小売がネット販売に押されたのと同様にバリュエーション・トラップ（割安株が割安のまま放置され期待リターンが得られにくくなる）に陥る可能性があります。また、これらの革新的なテクノロジーによる生産効率の向上によりインフレ率は予想より低位で推移すると考えられ、長期金利は過去水準まで上昇しない可能性があります。

当ファンドは、金融サービスとテクノロジーの融合を活かし、グローバル経済におけるあらゆる取引や価格移転に影響を与える銘柄を選好していく方針です。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額に変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ご参考情報

※「組入上位10銘柄の銘柄概要」は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものでもありません。
 ※記載の見解等は、アーク社等による作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

<組入上位10銘柄の銘柄概要>

1 ROBINHOOD MARKETS INC - A / ロビンフッド・マーケット

アプリベースのオンライン証券会社で、投資家が無料で株式や暗号資産の取引を行うことができる。個人投資家にとって革新的なサービスであり、高いブランド力を構築し、新たな顧客を速いペースで獲得している。顧客基盤をもとに、暗号資産など新たな金融商品を販売することが可能である。

2 COINBASE GLOBAL INC -CLASS A / コインベース・グローバル

暗号資産の規制企業で2012年に設立。最も信頼される暗号資産取引所の1つである。同社は暗号資産に関連する各種サービスを提供していることから、市場の拡大と連動して成長することができると見られる。

3 BLOCK INC / ブロック

同社の総合的な決済ソリューション・プラットフォームにおいて、革新的なモバイル決済ハードウェアを提供することで、決済市場において確固たる地位を有している。同社が入手した膨大な取引データに基づいて、顧客に対して追加的なサービスを提供するなど、新たなニーズを開拓している。

4 SHOPIFY INC - CLASS A / ショッピングファイ

ショッピングファイは、商取引プラットフォームと実際の店舗において、販売業者が消費者に直接商品やサービスを提供できるような技術を提供している。また、金融サービスと独自の決済方法であるShopPayも提供する。将来、より多くの金融サービスを販売業者や消費者に提供する可能性がある。

5 MERCADOLIBRE INC / メルカドリブレ

オンライン取引会社。南米市場向けオンライン取引ウェブサイト「メルカドリブレ・マーケットプレイス」を運営する。同社のウェブサイトでは、ビジネスおよび個人による品物の掲載と固定価格または入札形式での販売が可能。さらに、オンライン決済サービス「メルカドパゴ」やオンライン広告プログラムなどを提供。

6 ADYEN NV / アディエン

決済ソリューション会社。カードネットワークや世界中のローカル決済に直接つながるインフラを構築し、ユニファイド・コマースや販売データ分析を提供する。同社のプラットフォームは単一システムでの支払いを可能にし、オンライン、携帯端末、店舗販売における売上成長に貢献する。

7 DRAFTKINGS INC-CL A / ドラフトキングス

デジタルスポーツ・エンターテインメントとゲームを米国内で運営している。スポーツ賭け、iGamingなどをウェブサイト、アプリダウンロード、DTCデジタルプラットフォームなど様々なチャネルで提供するほか、非代替性トークン（NFT）を使ったサービスも提供する。

8 JSC KASPI. KZ-ADR / カスピ

アプリケーションソフトウェア会社。独自の決済ネットワーク、請求書の支払い、消費者ローン、後払い決済サービス、eコマースや旅行プラットフォーム上などにおいて、様々な金融および商業サービスを提供している。カザフスタンでは、成人人口の半数以上が1か月に少なくとも一度は同社を利用しており、広く普及していると思われる。

9 ROBLOX CORP -CLASS A / ロブックス

オンライン・エンターテインメント・プラットフォームを開発・運営。ARやVRデバイスが消費者の間で継続的に普及することによって、世界中の消費者をターゲットにデジタルソーシャライゼーションの機会を提供する主要なプラットフォームとして台頭することが期待される。

10 TOAST INC-CLASS A / トースト

米国とアイルランドでレストラン業界向けのフィンテックプラットフォームを運営する。顧客がモバイルで注文・支払いができるなど、レストランの事業の改善、売上強化、顧客体験の向上を支援する様々なソフトウェアシステムを設計・開発している。

<カテゴリー別比率>

フィンテック カテゴリー	比率
決済イノベーション	28.3%
フィンテックで新たなビジネスを創出	22.1%
リスク分析/セキュリティ管理	16.3%
その他	13.4%
レンディング/資金調達	12.1%
ブロックチェーン	7.8%

※「フィンテック カテゴリー」はアーク社が考える分類です。

<規模別構成比率>

時価総額	比率
超大型株（50億米ドル以上）	25.4%
大型株（100億米ドル以上500億米ドル未満）	57.0%
中型株（20億米ドル以上100億米ドル未満）	17.0%
小型株（20億米ドル未満）	0.6%

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

モーニングスター社※(現:ウエルスアドバイザー株式会社)の選定により、下記を受賞しました。



「Morningstar Award “Fund of the Year 2020”」 国際株式型(グローバル)部門 優秀ファンド賞

Morningstar Award “Fund of the Year 2020”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスター※(現:ウエルスアドバイザー株式会社)が信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社※(現:ウエルスアドバイザー株式会社)並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2020年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスター※(現:ウエルスアドバイザー株式会社)が判断したものです。国際株式型(グローバル)部門は、2020年12月末において当該部門に属するファンド579本の中から選考されました。

※モーニングスター株式会社は2023年3月30日付で、SBIグローバルアセットマネジメント株式会社に社名を変更いたしました。現在、投資情報サービスおよび投信評価事業は同社の子会社であるウエルスアドバイザー株式会社で行っております。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの特色



世界の株式の中から主にフィンテック関連企業の株式などに投資します。

- 今後の成長が期待されるフィンテック関連企業の株式(預託証券を含みます。)を中心に投資を行なうことにより、中長期的な信託財産の成長をめざします。
- 外貨建資産の投資にあたっては、原則として、為替ヘッジは行ないません。



個別銘柄の選定において、アーク社の調査力を活用します。

- イノベーションにフォーカスした調査に強みを持つ、米国のアーク・インベストメント・マネジメント・エルエルシー(アーク社)からの助言をもとに、日興アセットマネジメント アメリカズ・インクがポートフォリオを構築します。



年1回、決算を行ないます。

- 毎年12月7日(休業日の場合は翌営業日)を決算日とします。
※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用ができない場合があります。

フィンテックとは

- フィンテック(FinTech)とは金融(Finance)と技術(Technology)を組み合わせた造語で、最新の情報技術を活用した「新たな金融サービス」のことを言います。
- フィンテックはスマートフォンのアプリなどを通じた金融サービスを中心に急成長しており、その利便性の高さから「私たちの生活を一変させるイノベーション」として注目されています。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

■お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	無期限（2016年12月16日設定）
決算日	毎年12月7日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度（NISA）の適用対象となります。 ※当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

■手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料 購入時の基準価額に対し3.85%（税抜3.5%）以内
※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。

換金手数料 ありません。

信託財産留保額 ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用>

運用管理費用（信託報酬） ファンドの日々の純資産総額に対し年率1.925%（税抜1.75%）

その他の費用・手数料 目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用（業務委託する場合の委託費用を含みます。）、
監査費用、運用において利用する指数の標章使用料などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。

組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬（有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品賃料に0.55（税抜0.5）を乗じて得た額）などがその都度、信託財産から支払われます。

※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

■委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社
投資顧問会社	日興アセットマネジメント アメリカズ・インク
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 〔ホームページ〕 www.nikkoam.com/ 〔コールセンター〕 0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）

■お申込みに際しての留意事項

○リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様へ帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

価格変動リスク

- ・株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
- ・新興国の株式は先進国の株式に比べて、また中小型株式は株式市場全体の平均に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。

流動性リスク

- ・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- ・新興国の株式は先進国の株式に比べて、また中小型株式は株式市場全体の平均に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

信用リスク

- ・投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト（債務不履行）や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

為替変動リスク

- ・外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- ・一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

カントリー・リスク

- ・投資対象国における非常事態など（金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- ・一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

有価証券の貸付などにおけるリスク

- ・有価証券の貸付行為などにおいては、取引相手先リスク（取引の相手方の倒産などにより貸付契約が不履行になったり、契約が解除されたりするリスク）を伴ない、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。貸付契約が不履行や契約解除の事態を受けて、貸付契約に基づく担保金を用いて清算手続きを行なう場合においても、買戻しを行なう際に、市場の時価変動などにより調達コストが担保金を上回る可能性もあり、不足金額をファンドが負担することにより、その結果ファンドに損害が発生する恐れがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

○その他の留意事項

- ・当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は 日興アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

投資信託説明書(交付目録見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第3283号	○	○	○
株式会社愛知銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第12号	○		
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第67号	○	○	○
株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長 (登金) 第2号	○		
株式会社足利銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第43号	○		
株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第633号	○		
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長 (金商) 第15号	○	○	○
a u カブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第61号	○	○	○
SMB C 日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第2251号	○	○	○
株式会社 S B I 証券 ※右の他に一般社団法人日本 S T O 協会にも加入	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第44号	○		○
株式会社 S B I 新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社 S B I 証券) (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第10号	○		○
岡三証券株式会社 ※右の他に一般社団法人日本暗号資産取引業協会にも加入	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第53号	○	○	○
岡地証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商) 第5号	○	○	
株式会社神奈川銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第55号	○		
株式会社熊本銀行	登録金融機関	九州財務局長 (登金) 第6号	○		
ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第2938号	○		
株式会社群馬銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第46号	○		○
株式会社京葉銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第56号	○		
J トラストグローバル証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第35号	○		
株式会社滋賀銀行	登録金融機関	近畿財務局長 (登金) 第11号	○		○
四国アライアンス証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長 (金商) 第21号	○		
株式会社清水銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第6号	○		
株式会社十八親和銀行	登録金融機関	福岡財務支局長 (登金) 第3号	○		
株式会社十六銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第7号	○		○
十六 T T 証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商) 第188号	○		
株式会社証券ジャパン	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第170号	○	○	
スルガ銀行株式会社	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第8号	○		
ソニー銀行株式会社 ※右の他に一般社団法人日本 S T O 協会にも加入	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第578号	○		○
株式会社第四北越銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第47号	○		○
株式会社筑邦銀行	登録金融機関	福岡財務支局長 (登金) 第5号	○		
株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第39号	○		○
株式会社中京銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第17号	○		
東海東京証券株式会社 ※右の他に一般社団法人日本 S T O 協会にも加入	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商) 第140号	○	○	○
株式会社東邦銀行	登録金融機関	東北財務局長 (登金) 第7号	○		
とうほう証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長 (金商) 第36号	○		
株式会社富山銀行	登録金融機関	北陸財務局長 (登金) 第1号	○		
南都まほろば証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長 (金商) 第25号	○		
西日本シティ T T 証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長 (金商) 第75号	○		
野村証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第142号	○	○	○
浜銀 T T 証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第1977号	○		
ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長 (金商) 第20号	○		
株式会社広島銀行	登録金融機関	中国財務局長 (登金) 第5号	○		○
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第152号	○	○	
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長 (登金) 第7号	○		○
株式会社福邦銀行	登録金融機関	北陸財務局長 (登金) 第8号	○		
P a y P a y 銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第624号	○		○
P a y P a y 証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第2883号	○		
株式会社北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長 (登金) 第3号	○		○
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第164号	○		○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第165号	○	○	○
丸三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第167号	○		
丸八証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商) 第20号	○		
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第54号	○		○
株式会社三菱 U F J 銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第5号	○		○
株式会社三菱 U F J 銀行 (委託金融商品取引業者 三菱 U F J モルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第5号	○		○
三菱 U F J 信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第33号	○	○	○
三菱 U F J モルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第2336号	○	○	○
株式会社宮崎銀行	登録金融機関	九州財務局長 (登金) 第5号	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第195号	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
 ※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。